

## 輸入食品の安全確保及び残留農薬等のポジティブリスト制度の導入についての意見交換会のアンケートに寄せられた意見（抜粋）

### ◆開催の企画全般・構成について

このような説明、交換会に初めて参加させていただきました。消費者として、もっと勉強の必要を感じました。

リスクコミュニケーションの主旨が理解できた。

開催の目的が、どこにあるのかを考えさせられる。行政としてやっている事の啓発なのか、啓発を通じて消費者の立場を考えているのか。

説明会と意見交換会を分けたことについては、知識を深めた上で意見交換ができるためよかったと思う。(地方公共団体職員)

テーマに関する説明については自分を納得させるものが多かったが、ディスカッション後の質疑応答になり、消費者として今迄が無知であったような気がした。消費者の知らない部分での問題点の多さに驚くと同時に不安な部分が多くなった。(消費者)

テーマを農薬に絞るべきと思いました。(食品等事業者)

はじめにテーマについて理解が深まり、その後消費者の求める所、行政の考え方、方向性などが聞けた点がわかりやすくよかった。(食品等事業者)

消費者向けであれば土日にすべき

情報の共有と言う点では良かったと思う。(マスコミ)

盛りだくさんで、時間内に終わらせるため、説明が性急すぎるくらいがあった。理解していくのに困難。特にポジティブリストは分からない。(消費者)

### ◆参加者の構成・募集方法

一般消費者が参加できる機会(場)とは言えない。一部の消費者だけが知り得る情報なので、広く知らせる手段の検討はないものか。

立場の違う人の意見が直接聞けて、考えられたところ。(製造・加工業)

一般消費者、食品関係業者など違った立場の方々が一室に介して食品安全について話し合いができることは良かった。(消費者)

一般参加者の意見、またそれに対する政府の回答が同時に聞けて大変勉強になった。(地方公共団体職員)

消費者だけでなく生産者の意見も知ることができた。消費者としては農薬の基準値が低い方がいいと考えてしまうけれど、生産する側にとっては難しくなることなのだと思います。(その他)

・リスクコミュニケーションは必要とは思いますが、消費者と事業者を一同に開催するとそのレベルが目的とすることが異なる。二者は分けて開催すべきと考える。(食品等事業者)

### ◆説明内容の難易度について

・消費者向けの内容として簡単に表現されていたと思う。(消費者)

・業者対象にあたるような専門的なことについては、別途機会を設けるべきではないのか。(消費者)

・内容が物足りない。(食品等事業者)

・もっと深く。今回レベルは誰でも知っている。(食品等事業者)

### ◆スライド・資料・会場について

P.Pの原稿が手元にあり、とても助かった。前の画面が大きくても見づらいところもあるので、これからもこの方法で行って欲しい。

パネルディスカッションのパネラーの姿が見えず高くした方が良かった。

手本に資料があるのでスライドは不必要だと思います。照明を明るくした方が良かったと思います。(消費者)

### ◆パネルディスカッション・意見交換について

(よかった点)質問者の時間を区切った点。

参加者にいろいろ質問させて下さってその点はとても良かった。(消費者)

質問時間が多く有意義、また会社名を聞かれなかったので答えやすかった。(食品等事業者)

一問一答にせず、いくつかの意見にまとめて回答した方が良かったのでは？(食品等事業者)

パネルディスカッションの消費者・行政・生産者・各々の横の意見交換は必要ない。事前にアンケート(質問)を取り、それに対し、各専門家が答えるような方式をとったほうが効率が良いしテーマ(内容)も絞られて良いと思う。(製造・加工業)

消費者代表が私の思っていることを発言してくれてよかった。(消費者)

説明だけでなく、パネルディスカッションを行う事によって、説明だけではびんと来なかった事の理解も進んだのでは？(食品等事業者)

### ◆時間配分について

意見交換の時間が長くとられていて、様々な視点で意見を聞くことができて良かったです。(消費者)

時間が短く感じた。午前中から始め、もっと聞きたかった。(製造・加工業)

拘束時間が長すぎる。(消費者)

前半の説明部分はあまり長くない方が良い。もっと皆からの意見を聞く時間をとって欲しかった。(食品等事業者)

### ◆事前質問への回答について

事前質問にペーパーで回答いただいた点。(マスコミ関係)

事前の意見・質問に対する回答について、有効なものも多いかと思われるので、もう少し説明の時間があっても良かったのでは。(地方公共団体職員)